

伊能忠敬：唐津を測量する（1/2）

～・伊能忠敬・東松浦地方測量のルート・『伊能忠敬測量日記』抜粋～

■伊能忠敬

上総国（千葉県）佐原村出身。55歳の時（寛政12年：1800）蝦夷（北海道）南部海岸と奥州街道の測量を始め、以後日本全国の測量を続け72歳の時（文化13年：1816）までの17年間に十次の測量を行っている。

■東松浦地方測量のルート『浜玉町町史』

文化9年（1812年）8月17日～9月16日までで測量隊は2班に分かれて各地を測量している。

8月17日、浜崎郷を測量、浜崎村庄屋中村恒五郎・浜崎浦庄屋溝江藤太郎・兵蔵宅に宿泊し、虹ノ松原を通過して唐津城下に出ている。城下および唐津藩領（現在の上場四町）の測量を終えた一行は、9月7日唐津の刀町を出立して養母田村瓦屋から久里村に渡り、鏡村を測り大庄屋竹内彦左衛門宅に宿泊、翌8日再び浜崎郷を測って久里村に引返し、長崎街道筋の千々賀・徳末村を測り、徳末村庄屋桜井理八郎宅に宿泊、翌日大川野郷に向かった。

以後、測量隊は伊万里地方を測り、9月14日再び千々賀・橋本・山本各村を通り、翌15日牟田部村峯庄吉宅に泊まっている。更に16日には巖木村に入り大庄屋保利鉄四郎宅に泊まり、翌日佐賀藩多久郷に入っている。

～2/2へつづく～

分野

歴史

◎地図・写真・統計資料など

◎引用・参考文献（出典）

- ◆『伊能忠敬測量日記』
- ◆『浜玉町史』
- ◆『鎮西町史』
- ◆映画「伊能忠敬一子午線の夢」（2001年東映 監督：小田四嘉幹）
- ◆TVドラマ 「四千万歩の男・伊能忠敬 人生ふた山、55歳の挑戦 妻が支えた日本地図作り」（2001年NHK正月時代劇）
- ◆小説 井上ひさし『四千万歩の男』（講談社1992）
- ◆漫画 みなもと太郎『風雲児たち』

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

<h2 style="text-align: center;">伊能忠敬：唐津を測量する（2/2）</h2>	分野	歴史
<p>～・伊能忠敬・東松浦地方測量のルート・『伊能忠敬測量日記』抜粋～</p>	◎地図・写真・統計資料など	
<p>～1/2からつづく～</p>		
<p>■『伊能忠敬測量日記』抜粋</p> <p>8月18日 朝晴天。6ッ後両手一同浜崎村出立。後手我等門谷・尾形・甚七、松浦郡御料所浜崎村、唐津街道橋口町制札角〇宿印より初、東町・西町・同村内唐津長崎街道追分へ御用杭を残す。5町51間。それより唐津街道測量、名所虹ノ松原・虹ノ浜・唐土ヶ原、播州舞子浜の長ものにて絶景也。〇虹印残・・・</p> <p>8月22日 朝より風雨、四ッ頃より大風雨夜に至る。逗留。</p> <p>9月2日 晴雲。烈風波高。七ッ半頃今村より乗船4里向島人家前より初、向島1周20町17間4尺5寸、人家19軒・・・</p> <p>9月7日 晴天。唐津刀町出立。水主町字船宮橋8月18日残〇石印初、長崎街道測る。・・・恵日寺に松浦佐用姫の念持仏観世音あり。・・・狭手彦発船に及て、姫離別を愁傷して鏡山の頂に登り上衣をぬぎ狭手彦の乗船を招き転伏して悲哀す。此より鏡山を領巾振山と号す。・・・</p>		
<p>忠敬は測量に従事するとともに唐津地方の名所旧跡を訪ね、測量日記の中に書き留めている。この測量日記は28冊からなり、前測量期中の天候・宿泊所・道のり・訪問者等が記載され、特に測量された道路は当時の地方の主要道であり、重要な郷土史の資料となっている。日本地図の作製は伊能忠敬の死去（文政元年：1818）後も続けられ文政4年（1821年）「大日本沿海実測地図」と「大日本沿が海岸実測録」完成した。没後の作業を担当したのは高橋至時の子、高橋景保。</p>	<p>◎引用・参考文献（出典）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆『伊能忠敬測量日記』 ◆『浜玉町史』 ◆『鎮西町史』 ◆映画「伊能忠敬一子午線の夢」（2001年東映 監督：小田四嘉幹） ◆TVドラマ 「四千万歩の男・伊能忠敬 人生ふた山、55歳の挑戦 妻が支えた日本地図作り」（2001年NHK正月時代劇） ◆小説 井上ひさし『四千万歩の男』（講談社1992） ◆漫画 みなもと太郎『風雲児たち』 	
<p>◎エピソード・伝承・うんちく など</p> <p>■ペリーの驚愕 伊能忠敬死後の文政11年（1828）シーボルトがこの日本地図を国外に持ち出そうとしたことが発覚し、関係した日本の蘭学者（至時の息子高橋景保ら）などが処罰されたのがシーボルト事件である。このシーボルトが国外に持ち出した伊能図の写本は、日本に開国をせまった際にペリーも持参している。単なる見取図だと思っていたペリーはきちんと測量した地図だとわかり、驚愕したと言われる。</p> <p>■伊能忠敬は、高橋至時の弟子になってからは寝る間を惜しみ天体観測や測量の勉強をしていたため「推歩先生」（推歩とは暦学のこと）というあだ名で呼ばれていた。日本で初めて金星の子午線を観測した人物である。</p> <p>■金沢工業大学土木工学科客員教授の伊能忠敏は、分家の子である。</p>	<p>◎もっと詳しく知りたい方は</p> <p style="text-align: center;">唐津市近代図書館へ お問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</p>	